

環境活動レポート

平成28年度

(対象期間:平成28年1月～平成28年12月)



作成年月日：平成29年2月27日

株式会社 東洋ネームプレート製作所

目次

1. 組織の概要	…	P 1
2. 環境方針	…	P 2
3. 実施体制	…	P 3
4. 環境目標	…	P 4
5. 環境活動計画と評価及び次年の取組内容	…	P 5, 6
6. 環境目標の実績	…	P 7
7. 当社の取り組み	…	P 8
8. 環境関連法規の遵守状況	…	P 9
9. 経営者による全体評価と見直し結果	…	P 10

【その他添付資料】

- ・環境上の緊急対策
- ・環境コミュニケーション受付表
- ・問題の是正及び予防処置

<1> 組織の概要

1. 事業所名及び代表者名

株式会社 東洋ネームプレート製作所

代表取締役社長 角田 幸重

2. 所在地

名称	所在地	延床面積	備考
三島工場	静岡県沼津市大岡4044-28	789.23m ²	今回の認証対象
本社工場	東京都足立区千住桜木2-4-5	221.5m ²	今回の認証対象外

3. 環境管理責任者、事務担当者の氏名及び連絡先

環境管理責任者 大山 明彦

TEL 055-960-7531

事務局 大山 明彦

E-mail mishima@toyo-name.com

4. 事業活動

シルクスクリーン印刷、各種ネームプレート・シール・ラベル製品の製作
工業用パッキン加工、樹脂製品加工

項目	平成28年1月1日現在
売上高	全社 2億4,351万円
従業員数	全社 23名 (内訳: 本社工場 8名、三島工場 15名)

6. 事業年度

1月1日～翌年12月31日

7. 認証・登録の対象範囲

活動: 全事業活動

対象組織: 三島工場

※ 本社工場は3年後までに認証取得予定

〈2〉 環境方針

株式会社 東洋ネームプレート製作所 環境方針

[環境理念]

株式会社東洋ネームプレート製作所は、環境保全も事業活動のひとつと考え、常に環境に配慮した製品づくりで、経済発展に寄与する企業を目指します。

[基本方針]

当社は環境理念に基づき、以下の基本方針を定め、継続的な環境経営を展開します。

1. 二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量等の削減に努めます
 - 1) 電気、ガソリンの使用量削減に努めます
 - 2) 3R活動の展開による廃棄物の削減に努めます
 - 3) 節水活動による水使用量の削減に努めます
 - 4) 化学物質の適正管理に努めます
2. 環境関連法規制等の遵守
環境関連法規制を遵守します
3. 環境に配慮した事業活動
 - 1) 事務用品等のグリーン購入に努めます
 - 2) 環境に配慮した製品作りを提案します
4. 環境コミュニケーションの実施
 - 1) 社外に環境活動レポートを公開し、利害関係者のみならず社会とのより良いコミュニケーションを図って行きます
 - 2) 社内においては、全従業員に環境方針を周知し、全社員参画による取組を目指します

制定年月日 平成27年 9月 1日(初版)

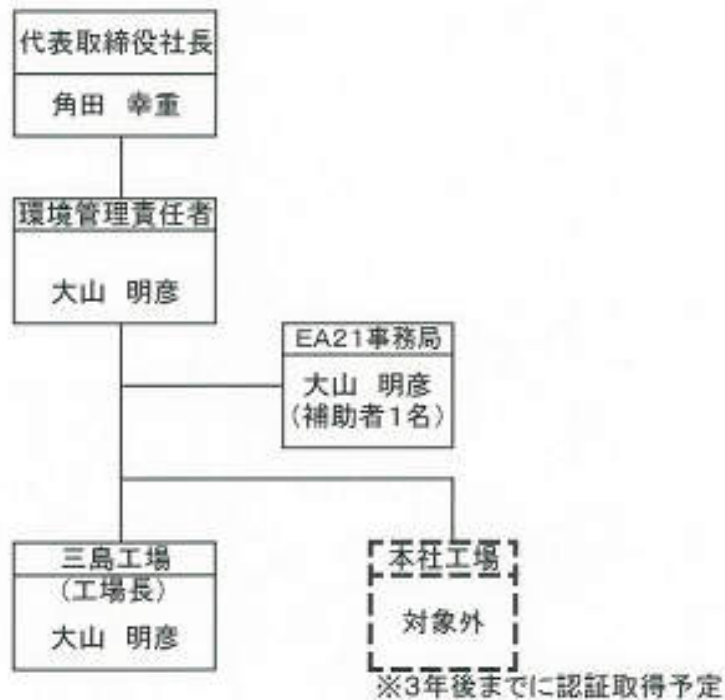
株式会社 東洋ネームプレート製作所

三島工場 工場長 大山 明彦 印



〈3〉 実施体制

平成29年2月20日 現在



〈関係者の責任・権限と役割〉

社長

- ①環境経営全般に関する責任と権限
- ②環境経営に必要な資源の準備
- ③環境経営システム全体の評価と見直し
- ④環境管理責任者の任命

環境管理責任者

- ①環境経営システム全般の運用・管理
- ②環境目標及び環境活動計画の作成
- ③取組状況の社長への報告
- ④環境活動レポートの作成

EA21事務局

- ①環境負荷データ等の集計
- ②環境目標・環境活動計画の進行管理
- ③「環境負荷」及び「環境への取組」の自己チェックの実施
- ④環境管理責任者へ取組状況の報告
- ⑤法規制の遵守状況チェック
- ⑥文書・記録の管理

従業員

- ①自分の役割を守りエコアクション21活動を推進する

〈4〉 環境目標

短期・中長期環境目標

環境目標は、平成26年度を基準年とした基準年比とする。

項目	単位	H26年度 (基準年)	H27年度	H28年度	H29年度	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	40,855	-2%	-4%	-5%	
			40,038	39,221	38,812	
	電力	kWh	56,894	-2%	-4%	-5%
			55,756	54,618	54,049	
	ガソリン	L	5,294	-2%	-4%	-5%
				5,188	5,082	5,029
廃棄物排出量	産業廃棄物	t	10.0	-5%	-7%	-10%
				9.5	9.3	9.0
	一般廃棄物	kg	0.6	現状把握 0.3	-5%	-7%
				0.285	0.279	
水使用量	m ³	144	-2%	-4%	-5%	
			141	138	137	
グリーン購入（事務用品）	%	—	現状把握 (0%)	購入品の 3%	購入品の 5%	
化学物質使用量	kg	329.05	適正な管理・使用			
環境に関する納品クレーム ゼロ	件	0	0	0	0	

(注)

- 1) 「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、東京電力(H25年度)の「0.530kg-CO₂/kWh」を使用した。
- 2) 「一般廃棄物排出量」と「グリーン購入」は、平成27年度に現状把握
(運用開始9月より4ヶ月の平均値から算出)を行い、28年度から数値目標を設定した。
- 3) 「化学物質使用量」の数値目標の設定は困難なことから、定性的な目標とする。
- 4) 「環境に配慮した製品作り」は、環境に関する製品クレーム0とした。

〈5〉 環境活動計画と評価及び次年の取組内容

(取組期間:平成28年1月～12月)

環境活動項目(平成27年度)		責任者	評価	コメント	今後(次年)の取組内容	
二酸化炭素の削減	エコ・ドライブ	A. 不必要なアイドリングの禁止	○	走行距離の把握、燃費の確認などにより、エコドライブの意識は持っている。	継続	
		B. 不要な荷物を積まない(1回/月チェックする)	○			
		C. 急発進・急加速の禁止	○			
		D. 早めにシフトアップ	○			
	運転管理等	A. 運転週報の記載(走行キロ数、給油量等)	○	走行距離、給油量を車(3台)ごとに集計、グラフ化した。来年は、データを活用した、効率運転の検討にはいる。	継続	
		B. 低冷房運転の励行	○			
	空調等	A. 空調フィルターの定期清掃(夏前、冬前 2回/年)	○	フィルターの定期清掃はできている。夏場に、排水異常によりエアコンが停止した。今後は、ドレンの定期清掃も行う。今年も緑のカーテンを実施。	継続 エアコン ドレンの定期清掃を実施	
		B. 緑のカーテンの実施	○			
	工場・事務所	A. 高効率照明の採用(LED)	大山	○	小ロット対応により、段取り時間の短縮は、より一層重要な課題となった。作業効率をアップする為の活動として、現場全員参加によるグループ活動を検討する。	継続
		B. コンプレッサーのエア漏れチェック		○		
		C. 未使用設備の電源OFF(製造設備・OA機器・他)		○		
		D. 段取り時間の短縮		○		
		E. 不良品の削減	仙波	○		
		F. 5S活動の実施		○		
	水使用量の削減	洗車時の節水	大山	○	H28.1.11漏水工事完了。毎月、漏水確認を実施し記録。	継続
		水もれ点検の実施		○		

〈6〉 環境目標の実績

前年同期実績をベースに、運用期間(平成28年1月～12月)の実績・評価を以下に示す。

項目	単位	H26年 実績	H28年 目標	H28年 実績	比率	評価	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	40,855	-4%	39,023	-4.5	○	
			39,221				
	A電力	kWh	56,894	-4%	53,390	-6.2	○
				54,618			
	B印刷売上げ	千円	55,770		54,136	-2.93	-
A/B		1.02		0.99	-3.3	×	
	ガソリン	L	5,294	-4%	4,620	-12.7	○
				5,082			
廃棄物排出量	産業廃棄物	t	10.0	-7%	10.0	0	△
				9.7			
	一般廃棄物	kg	0.600	-5%	0.225	-62.5	○
				0.570			
水使用量	m ³	143.97	-4%	222.13	54.3	×	
			141.09				
グリーン購入(事務用品)	%	—	購入品の3%	4.67%		○	
化学物質使用量	—	—	適正な管理・使用			○	
環境に関する納品クレーム	ゼロ	件	0	0	0	○	

〈原因分析〉

1) 電力使用量については、小ロット、短納期の増加で、電気炉の運転効率が落ちていると思われる。目標は、達成できているが、昨年使用量をオーバーしてしまっている事から、今後の目標については運転管理表のデータを元に、再度節電目標を検討する必要があると考える。

2) 昨年発見された漏水の影響により、年初の水使用量が多くなってしまった。その部分を例年並みと考えると、使用量はおおよそ120m³となる。
毎月、漏水点検を実施した。

環境活動項目(平成27年度)		責任者	評価	コメント	今後(次年)の取組内容
廃棄物の削減	コピー用紙の両面使用	原田	○	夜間に届くFAXが少量である事、結局全て出力(広告等は昼間来ている)することになっていた為、PDF化は実施しない事とした。	継続
	封筒などの再利用		○		
	夜間FAXのPDF化		×		
リサイクルの推進	ダンボールの再利用	飯島	○	ダンボールの保管を、再利用とリサイクル業者回収用で分けた。梱包材の再利用も含め、今後も活動を継続していく。	継続
	PETボトルのリサイクル率向上		○		
	梱包材の再利用		○		
グリーン購入	グリーン購入の実績把握	大山	○	キングファイル、ボールペン等、エコ商品を購入した。事務用品の購入金額の4.8%はエコ商品になった。今後も、比率を上げるよう活動していく。	継続
	グリーン商品の優先購入		○		
化学物質	使用化学物質のMSDS入手	大橋	○	インク・溶剤の全MSDSを入手。使用量削減は、作業上困難な面も多く、管理も難しいが、洗浄時の使用量削減など、取り組んでいく。削減の意識は持っているが、小ロットによる洗浄回数の上昇など、改善効果が把握できない。どうか、モチベーションを維持していく方法を検討する。	継続
	購入量・使用量の把握	杉山	○		
	使用量削減の検討		○		
	購入・保管・使用・廃棄段階の適正管理		○		
環境配慮製品	環境に配慮した原材料の提案	大山	○	製品規格段階での材料提案を積極的に実施していく。	継続
備考	<p>1) 取組期間の評価は平成28年1月～12月の1年間の実績評価である。</p> <p>2) 評価判定は○・△・×の3段階で行なった。</p> <p>3) 活動計画の見直しは、平成28年の活動が終了した時点で行う。(期間中の見直しは行なわない)</p>				

<7> 当社の取組み

◆社内注意書きで社員の意識づけ◆



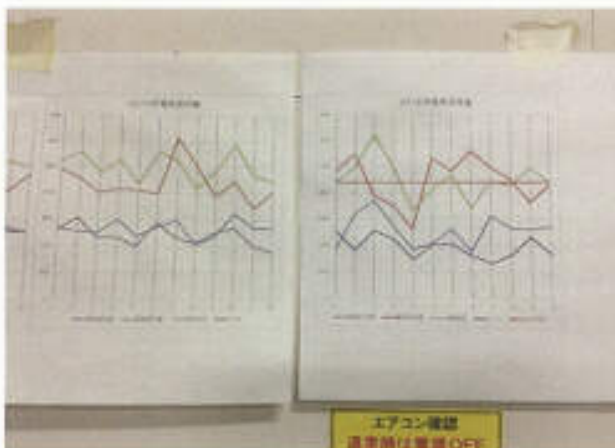
◆グリーンカーテン◆



◆作業予定表の掲示◆ (短納期への即時対応)



◆電気使用量の推移を掲示◆



◆電気炉運転管理表による 省エネ運転の意識付け◆



<8> 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無

1. 環境関連法規等の遵守状況

当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した

評価日 平成28年10月12日
評価者 環境管理責任者 大山 明彦

法律・条例	遵守事項または規制基準	当社の適用及び対応	遵守評価
循環型社会形成推進基本法	廃棄物の3R及び適正処理の推進	廃棄物の分別、行政への協力	○
廃棄物処理法	事業系一般廃棄物の処理	市条例の収集・処理基準の遵守	○
	産業廃棄物の保管	保管基準の遵守、保管場所の表示	○
	産業廃棄物の委託処理	処理業者と契約契約書の締結	○
	マニフェスト管理	マニフェストの交付、保管	○
		D.E票の期間内返却	○
		マニフェスト交付状況の知事報告	6/30までに報告書提出
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	委託先の実地確認と記録の保存	現地確認記録の保管	○
家電リサイクル法	指定家電の廃棄時	リサイクル料金の支払(廃棄時)	本年は該当なし
自動車リサイクル法	自動車の廃車時	リサイクル料金の支払(廃車時)	○
リサイクル法	適正廃棄	パソコン、二次電池廃棄時	本年は該当なし
資源有効利用促進法	指定再資源化製品のリサイクルへの協力	メーカー回収への協力(パソコン、小型二次電池等の廃棄時)	○
環境基本法	自主努力義務、行政への協力	EA21の取組	○
地球温暖化対策推進法	自主努力義務、行政への協力	EA21の取組	○
省エネ法	省エネの自主努力	LEDライト導入	○
消防法	少量危険物の保管	消防署への届出	○
	火災予防	消火設備の定期点検	○
フロン排出抑制法	エアコン・冷蔵機器の廃棄時	フロン回収業者への引き渡し	本年は該当なし
PRTR法	対象化学物質の年間取扱量の把握と届出	対象化学物質の年間取扱量の把握	該当なし
	対象化学物質の年間取扱量の把握と管理	対象化学物質の年間取扱量の把握と管理	○
株明電舎グリーン調達基準	納入基準の遵守	適合製品の納入	○
労働安全衛生法	従業員の労働安全と衛生の確保	MSDSの入手と取扱い注意事項の遵守	○

2. 違反、訴訟等の有無

当社に対し関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去3年間ありませんでした

〈9〉 代表者による全体評価と見直し結果

平成28年の取組について、期間中の環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況等について評価を行なった。

その結果、水使用量は前年から続いた漏水により目標未達成であったが、全体的には良い結果が得られたと思う。

節電については、“前年よりも節電すること”を目標に掲げ取り組んだが、小ロット・短納期の顧客要求への対応に追われ、電気炉の運転効率低下により、前年よりも電気使用量が増えてしまった。

電気炉運転管理表の集計結果をもとに、今後の節電目標の再設定を検討していく。

朝礼や製造会議等の場を活用した、社員への周知の他、グループ単位での5S、節電活動を取り入れ従業員の意識改革、コミュニケーションの向上を図る。

エコアクション21の活動を通して、従業員1人1人が、何が必要かを考え行動できる会社にしていけるよう、地道に活動を続けてゆきたいと思う。

平成29年2月27日

株式会社東洋ネームプレート製作所

三島工場 工場長 大山明彦

環境上の緊急対策

(緊急時対策)

想定される環境に於ける緊急事態について、環境への影響を最小限に食い止めること・内外への連絡を円滑に行うこと・可能な範囲で事前に想定、準備すること。また、定期的にその訓練を行う。
更に、緊急事態の発生や、訓練の後、対応の評価と改善策を行う。

想定のパターン	想定される緊急事態	原因	対応策
パターン	危険物保管庫からの発火、引火	ライター等の発火装置使用による引火	<ul style="list-style-type: none"> ・発火装置の持込禁止 ・置場の整理・整頓 ・消火器の設置

訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対処・訓練等
2016/11/9	危険物保管庫からの出火	引火	<ul style="list-style-type: none"> ・ライター等の持ち込み禁止 再確認 ・整理・整頓の確認 ・消火器を目立つようにする
参加者		全社員	
※評価と改善策 火災発生時の、通報・避難・消火訓練を実施した。 消火器の持ち出し、消火栓の使用等、迅速に行動できた。 実際に、放水訓練も行った。			

消防訓練の様子



環境コミュニケーション受付表

作成・管理担当: 大山明彦

NO.	情報入手日	情報種類	報告者	報告方法	住所	内容	回答の必要性	対応内容
					連絡先			
1	1月20日	対策	㈱A/〇177〇〇	報告書 ()	沼津市中原町 3-20 935-1168	自家用電気工作物月次点検	不要	1月8日に実施 問題なし
2	2月24日	対策	㈱A/〇177〇〇	報告書 ()	沼津市中原町 3-20 935-1168	自家用電気工作物月次点検	不要	2月5日に実施 問題なし
3	3月25日	対策	㈱A/〇177〇〇	報告書 ()	沼津市中原町 3-20 935-1168	自家用電気工作物月次点検	不要	3月11日に実施 問題なし
4	4月21日	対策	㈱A/〇177〇〇	報告書 ()	沼津市中原町 3-20 935-1168	自家用電気工作物月次点検	不要	4月8日に実施 問題なし
5	5月27日	対策	㈱A/〇177〇〇	報告書 ()	沼津市中原町 3-20 935-1168	自家用電気工作物月次点検	不要	5月13日に実施 問題なし
6	6月24日	対策	㈱A/〇177〇〇	報告書 ()	沼津市中原町 3-20 935-1168	自家用電気工作物月次点検	不要	6月3日に実施 問題なし
7	7月26日	対策	㈱A/〇177〇〇	報告書 ()	沼津市中原町 3-20 935-1168	自家用電気工作物月次点検	不要	7月8日に実施 問題なし
8	8月24日	対策	㈱A/〇177〇〇	報告書 ()	沼津市中原町 3-20 935-1168	自家用電気工作物月次点検	不要	8月5日に実施 問題なし
9	9月20日	対策	㈱A/〇177〇〇	報告書 ()	沼津市中原町 3-20 935-1168	自家用電気工作物月次点検	不要	9月9日に実施 問題なし
10	10月25日	対策	㈱A/〇177〇〇	報告書 ()	沼津市中原町 3-20 935-1168	自家用電気工作物月次点検	不要	10月7日に実施 問題なし
11	11月24日	対策	㈱A/〇177〇〇	報告書 ()	沼津市中原町 3-20 935-1168	自家用電気工作物月次点検	不要	11月11日に実施 問題なし
12	12月27日	対策	㈱A/〇177〇〇	報告書 ()	沼津市中原町 3-20 935-1168	自家用電気工作物月次点検	不要	12月9日に実施 問題なし

問題の是正及び予防処置

記録日 2016/8/10

担当者 大山明彦

	日付	対象項目	原因	是正及び予防処置
1	1月11日	水道の漏水	地下配管からの漏水	1月10日、11日に工事を実施し、別配管をつなげて、漏水配管は廃止した。 今後は、毎月 漏水点検を実施する。
2	8月6日	電気設備の点検 メンテナンス		8時30分～11時30分 電気の供給を停止し、 設備の点検・メンテナンスを実施した。
3				
4				
5				
6				